

住職挨拶

5月の施餓鬼会も間近となりましたが、皆さまお変わりなくお過ごしのことと存じます。

同じ5月には梅窓院団体参拝も計画しています。1泊2日で京都の総本山知恩院、大本山清浄華院、そして、世界遺産の平等院に参拝致します。知恩院は浄土宗を開かれた法然上人ゆかりの地、清浄華院は京都にある四箇^{しか}本山^{ほんざん}のひとつ、平等院は、皆様ご存じの世界遺産で、今回はご住職に親しくお話をいただきます。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

なお、施餓鬼会の法要を今年から少し変更させていただきます。詳しくはこの『青山』の次のページでご確認下さい。また施餓鬼会に続いて開山忌法要とお能の奉納は変わりませんが、今回からはお能だけを鑑賞される方の入場を制限させていただくことにしました。お能を鑑賞されたい方は法要からご参列下さい。ご理解ご協力をお願い申し上げます。

梅窓院第二十五世 中島 真成

BAISOIN NEWS AOYAMA

梅窓院通信

青山

施餓鬼号

No.88

2017/04/01

お施餓鬼

五月二十日(土)

附施餓鬼法要(塔婆回向・別時念仏・半齋供養)

午前十一時～十二時十五分 本堂

お齋とぎ(お食事を頂きます)

午前十二時二十分～ 観音堂

御説教

午後一時～ 祖師堂

講師 群馬教区 長壽院 蟹和 秀顕 上人

大施餓鬼会法要

午後二時～ 祖師堂

- ・長時間にわたる法要の為、途中からの参加も可能です。
- ・塔婆回向(お名前の読み上げ)は午前十時からの法要で行います。
- ・全ての法要終了後にお塔婆をお渡し致します。
- ・場所は変更となる可能性があります。

せがき 施餓鬼によせて

施餓鬼会とは、仏教行事の一つです。

釈尊(お釈迦様)の弟子阿難尊者あなんそんじやがひとりて瞑想している時に、口から火を吐く、痩せこけた恐ろしい餓鬼が現れ、「お前の命はあと三日しかなく、死んだあとは我々と同じ餓鬼道に堕ちる。」と告げました。阿難尊者は驚き、釈尊に相談をしました。釈尊は「餓鬼たちに食べ物を施し、ありがたい陀羅尼だらにを唱え、供養すると良い。その功德により、餓鬼も救われ、お前自身も救われるだろう。」と伝えました。仰せの通りにしたところ、餓鬼達はみな救われ、その功德により阿難尊者は長寿を得られたという仏説に由来しています。

「餓鬼」というのは、強欲で物惜

しみをし、生前の悪い行いの報いとして餓鬼道に堕ちた者の事をさします。餓鬼道では、お腹が空いて食べ物に口にいれようとしても火にかわって食べられないほど、常に飢えなどの苦しみから逃れられない存在なのです。

施餓鬼会は、だれも面倒をみてくれない無縁仏や餓鬼に施して供養した功德を、新亡の霊や先祖代々の諸霊に回向し供養すると共に、みなさん自身の幸せや長寿を願う法要です。日頃の自分自身に潜んでいる「餓鬼」の心を反省し、自他ともに生かされている身をしっかりと受け止め、救われる功德をお互いに積んでいく事が大切なのです。

是非、この施餓鬼会に足を運んでいただき、今は亡き遠い先祖や、近い家族の精霊へ、心を寄せて、手を合わせ、お念仏をしていただきました
(法務部)

回向のお申込み方法とお知らせ

◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御塔婆

御回向料 …… 1本/1万円

- ・同封のハガキにご記入の上4月30日(日)必着でお申込み下さい。
- ・当日の法要に参加される方は、出席人数も合わせてご記入下さい。(当日、出席人数分のお弁当をご用意致します。)
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いはできません。)

「せがき子どもひろば」のご案内

お施餓鬼の当日、梅窓院内に「子どもひろば」を設けます。職員による絵本の朗読や、折り紙遊びなどを予定しております。是非この機会に、お子さまと一緒に御参り下さい。



子どもひろばの様子

※子どもひろばに関するお問い合わせは青山文化村まで。TEL 03-3404-8588

開山忌法要

六月十日(土)

梅窓院を開かれた南龍上人のご供養と報恩謝徳の法要を執り行います。また、法要後に能楽を奉納します。

なお、今年度より能楽からのご鑑賞は行っておりませんので、法要からのご参列をお願い申し上げます。

また、法要と能楽ともに一般の方も参列、観賞ができます。入場無料ですので、御家族・お友達お誘い合わせの上お越し下さい。

法要

午後三時～ 本堂

※法要終了後、休憩がございます。

能楽奉納

午後四時～ 祖師堂 演目 半能「善界」(予定)



能楽演者のプロフィール

橋本 忠樹 (はしもと ただき)

1974年京都生まれ。東京藝術大学音楽学部卒。観世流シテ方橋本礒道長男。

父及び故 片山幽雪(人間国宝)、10世片山九郎右衛門に師事。幼少より父、礒道に師事し3歳で初舞台。大学在学時には、観世流シテ方26世宗家・観世清和、故 藤波重満、野村四郎各師に師事。

大学卒業と共に9世・片山九郎右衛門(幽雪)師の許で内弟子修行を積み2001年独立。

独立後は、若者に能楽の魅力を伝える新たな試みに挑戦し、華道末生流笹岡家元 笹岡隆甫と「生け花と能の会」、お寺やバーでの能公演など、若者が気軽に能や日本の古典に触れられる機会を企画し公演を行っている。

2006年には、「日本・チュニジア国交50周年記念、カルタゴ芸術祭」にてチュニジア国では初の能公演に、その後もドイツ公演、アメリカ公演、フランス公演に参加し日本のみならず海外にても公演している。また、実際に謡・仕舞を教え、伝える事にも力を入れ、京都外国語大学や京都市立御所南小学校での稽古活動、京都・東京・滋賀・大阪などでの稽古活動の他、「小さな子供のお稽古教室」も開き、幼少から日本の伝統文化である「能」に触れることによって「本物」を見極める目を養う機会を提供している。

(公社)日本能楽協会会員・(公社)京都観世会会員、東京藝術大学音楽学部同声会会員
大正大学客員教授、京都市DO YOU KYOTO?大使

開山忌によせて

梅窓院のはじまりを辿ってみませんか。

二〇一一年から始まった開山忌法要も今年で六回目を迎えます。

開山忌とはそのお寺を創建した僧侶へのご供養と報恩感謝を表す法会で、梅窓院では南龍上人という方への法要となります。梅窓院は、青山家の菩提寺として江戸時代初期一六四三年に建てられたお寺です。青山家は、丹波の篠山本家と岐阜の郡上分家の二つの流れがありますが、郡上の青山家のご先祖の利白大姉が梅窓院の御開基です。梅窓院という院名も青山忠成公の四男幸成公の戒名からとっています。

ある史料では梅窓院の初めの住職は、徳川家康公と縁の深かった増上寺の第一二世、観智国師存応となつ

ていますが、実際は勸請開山とされています。当時の法律上、新たな寺院の建立が禁じられていたので、青山家ゆかりの著名な増上寺観智国師存応を開山上人として幕府へ届ける必要があったようです。実際の開山上人は、梅窓院の過去帳を見てもみすと、戴蓮社頂譽上人冠中南龍和尚です。南龍上人は、梅窓院建立に携わり、その功績によって開山上人にられました。

梅窓院では毎朝の勤行の時に、南龍上人に報恩感謝の回向をおこなう、年に一度はそのお徳に供養のころをささげるために開山忌を行っています。また、開山忌法要の後には法楽として観世流の能楽を奉納致します。皆さまお誘い合わせの上、ご来寺下さい。(法務部)

2月の行事報告

第70回 念仏と法話の会 2月21日(火)

お檀家さんへ 平成29年修正会にて お檀家さんに伺いました

「新年の始まりは梅窓院へ」

檀信徒になってから修正会には6回ほど参加しています。

朝からの法要は新年の始まりに相応しく、身が引き締まります。

また、ご僧侶方のお経の調和がとても素晴らしく感動しました。

お雑煮は見た目も美しく、上品な味で今年も美味しくいただくことができて嬉しく感じました。

「子供の頃からお参りしています」

父方の先祖代々がお墓に眠っているので、子供の頃から毎年新年の挨拶にお参りにきています。

法要後のお齋でのお雑煮はいつも美味しくいただいています。今回、特に美味しいと思ったのが栗きんとんです。昨年と味付けが変わったような気がしたのですが、今年も美味しくいただきました。



秋彼岸写真展 開催のお知らせ

今年も写真展を開催致します。会場にて人気投票を行い、各部門の優秀賞の方には賞品を贈呈致します。

詳細については6月1日発行の『青山』お盆号にてお知らせ致しますので、ふるってご応募下さい!!

発行 / 梅窓院
発行日 / 平成29年4月1日
発行人 / 中島 真成
編集 / 青山文化村
住所 / 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 / 03-3404-8447
FAX / 03-3404-8436
ホームページ / <http://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail / jodo@baisouin.or.jp
題字 / 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

日本エキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

先日、青山霊園の墓所が当選したという方の墓所建立のご注文を当社でいただき、梅窓院のご僧侶によって墓地開眼までお手伝いさせていただきました。ご親族が集合してからタクシーで現地に行き、帰りもまたタクシーの手配で戻ったのですが、それを思うと梅窓院のお檀家様は集合も解散も楽だな……と実感いたしました。私事で恐縮ですが私の実家の墓所は待ち合せが大変です。それだけでなく夏は大渋滞、雑草抜きも大変です。一度、夜にお参りしたら真っ暗で怖くなりました。梅窓院のお檀家様が羨ましい限りです。墓所の補修、建替え等お気軽にお問合せ下さい。ご紹介もお待ちしております。

(墓苑部 森)

行事予定

増上寺御忌大会

4月2日(日)～7日(金)

大本山増上寺で、4月2日～7日までの6日間浄土宗の宗祖法然上人の御徳をたたえ、その御徳に感謝する特別な法要が行われます。4月3日、4日には詠唱大会が開かれ、北海道から静岡までの詠唱会が大殿(本堂)で奉納します。3日に梅窓院の詠唱会も奉納しますので、みなさんお運び下さい。



昨年の増上寺大殿での詠唱奉納の様子

はなまつり

4月7日(金)～9日(日)

寺院棟2階 本堂
寺院棟2階本堂エントランスに花御堂を、休憩所には甘茶をご用意しております。



誕生仏に甘茶をかける花御堂

施餓鬼会法要

5月20日(土)

※詳細は中面をご覧ください。

団体参拝旅行

—知恩院・清浄華院・平等院—

5月27日(土)～28日(日)

今年には京都府の知恩院、清浄華院、平等院に1泊2日で参拝します。



(上)総本山 知恩院 (下)大本山 清浄華院

開山忌法要・能楽奉納

6月10日(土)

※詳細は中面をご覧ください。

第71回 念仏と法話の会

6月26日(月)

午前11時30分～(受付は11時～)
お齋 / 別時念仏会 / 法話 / 茶話会
法話 六道について

講師 群馬教区 長壽院 蟹和 秀顕 上人

お知らせ 消防訓練

3月10日(金)梅窓院で赤坂消防署の指導と監修のもとに消防訓練を行いました。

僧侶や職員が消火活動を実践しましたが、真剣そのものでした。

